

第6節 簡易タンク貯蔵所の基準（政令第14条）

第1 同一品質の危険物（政令第14条第1項第2号）

全く同じ品質を有するものをいい、法別表に掲げてある品名が同一であっても、品質が異なるもの（例えばオクタン価の異なるガソリン等）は該当しない。

第2 標識、掲示板（政令第14条第1項第3号）

標識及び掲示板については、政令第14条第1項第3号の定めによるほか、第2章第1節製造所の基準第5の例によること。

第3 固定給油設備等を設けた簡易貯蔵タンクの扱い（昭和37年4月6日自消丙予発第44号）

- 1 貯蔵を主な目的とする場合は、貯蔵に伴う行為として、給油業務又は詰替業務を行うことができる。
- 2 給油を主な目的とする場合は、1日の給油量が指定数量未満であっても給油取扱所として規制する。
- 3 自動車への給油設備（自家用のもの）で、給油の機会が少なく、1日の給油量が指定数量未満のものは簡易タンク貯蔵所として扱う。